

▼ 12月11日

クリスマス会



松前町障害自立ひまわりの会作業室で、手をつなぐ育成会主催のクリスマス会が開催されました。

ひまわりの会のメンバーに加え、支援学級の後輩、先生、ボランティアなど、日ごろから交友のある40人が参加。一緒になって演奏やダンス、ビンゴゲーム、なぞなぞなどを楽しみ、少し早いクリスマス気分を味わいました。

▼ 12月1日

素直な想いを短歌に



町民短歌大会は、松前総合文化センターで開かれ、大勢の愛好家が参加しました。これはまさき文化祭の一つとして毎年行われているものです。大会では、愛媛アラragi会会長の河村昭夫氏が、応募のあった作品を一つ一つ詠み、講評していきました。

参加者らは、作品の講評などを通して歌の心を学び、感性に磨きをかけていました。

▼ 11月24日

お仕事してくれてありがとう



勤労感謝の日になみ、古城幼稚園の園児たちが役場を訪れ、日ごろの感謝の気持ちを込めたプレゼントを副町長と教育長に贈りました。

園児たちは「いつもお仕事してくれてありがとうございます」と手作りのメダルやペン立てをプレゼント。メダルには「風邪をひかないでお仕事頑張ってください」など、温かいメッセージが添えられていました。

▼ 11月17日

人権の花



松前町人権擁護委員と松前町教育委員会は、「人権の花運動」として、ビオラとアリッサムの苗、チューリップの球根を青葉幼稚園に贈呈しました。園児たちは、花を植えるコツを教えてもらいながら、1本1本プランターに植えていきました。綺麗な花を咲かせることで、園児たちに生命の大切さや、目標を達成することの大切さを感じてもらいたいという願いが込められています。

▼ 12月17日

液状化を学ぶ



松前町自主防災連合会主催の「防災ワークショップ」は役場庁舎で開かれ、町民など70人が地震が引き起こす液状化現象について学びました。

地下水が豊富で砂地盤が多いことから、大地震による液状化現象の発生が心配される松前町。講演では、愛媛大防災センターの岡村未対教授がこのことにふれ、「地盤調査やリスクに応じた地盤強化対策や地震保険の利用を考慮してほしい」と訴えました。

▼ 12月4日

第九プレコンサート



12月18日の松前町第九演奏会に先立ち、松前町第九合唱団は、エミフルMASAKIの1階グリーンコートで、プレコンサートを開きました。

本番は伊予高等学校吹奏楽部の演奏でソリスト4人を迎えますが、今回はピアノ伴奏でソリストなしで、4楽章の合唱の部分を披露。ホールに高らかに響き渡る迫力ある歌声に、買い物客らは思わず止まって聞き入っていました。

▼ 11月25日

花壇がきれいになりました



伊予農業高等学校の1年生14人がボランティアで、役場の正面玄関の花壇に花を植えました。今回の花は、黄色、紫、赤、オレンジなど色とりどりのビオラ約300株。

生徒たちは、きれいに並ぶように丁寧に花を植え、花壇を鮮やかに彩りました。冬空のもと、かわいらしく整列した花々が、役場にきた人をお出迎えます。

▼ 11月23日

まさき村で珍味無料配布



四国珍味商工協同組合は11月23日(いづまみ)の「珍味の日」に合わせて、まさき村で珍味を無料配布しました。毎年恒例となっているこの行事。当日は、あいにくの天気にもかかわらず、開始30分前から行列ができてはじまり、用意された約450袋の珍味は大盛況のうちになくなりました。珍味を受け取った人たちは、「カルシウムがいっぱい入っていて体にいいし、おいしい」と喜んでいました。